

節水の具体的方法

1 職場における節水

- (1) 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。
- (2) 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。
- (3) 来客に対する湯茶、コーヒー等のサービスは自粛する。
- (4) トイレの二度流しを極力控える。

2 家庭における節水

- (1) 洗面
 - 歯磨き、洗面、手洗い時の流し洗いはしない。
- (2) トイレ
 - ア 水の流し過ぎはしない。
 - イ 大小レバーの使い分けをする。
- (3) 洗濯
 - ア 風呂の残り湯を使う。
 - イ 洗濯物はまとめて洗い、回数を減らす。
 - ウ すすぎの回数及び水位を減らす。
 - エ 洗剤は適量を使用する。
- (4) 風呂
 - ア シャワーはこまめに締める。
 - イ 浴槽にはあふれるほどの水を張らない。
 - ウ 残り湯は捨てずに再利用する。
- (5) 台所
 - ア 食器はため洗いする。(水の流しっぱなしはしない。)
 - イ 米のとぎ汁などは散水に使う。
 - ウ 食器や調理器具の油分は紙でふいてから洗う。
- (6) その他
 - ア 洗車及び散水を自粛する。
 - イ ふきそうじは風呂の残り湯を使う。
 - ウ 庭の散水には洗濯の排水、風呂の残り等を再利用する。
 - エ 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。
 - オ 雨水をためて利用する。
 - カ 水漏れ箇所の修理を行う。
 - キ 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。

3 その他

- (1) 水道管に漏水がないかどうかチェックする。
- (2) 雨水、井戸水、湧水等を利用する。(用途：庭水、散水等)